

	・そのためのスタディ・スキルズとは ・初年次セミナーの狙い ・研究倫理について
第 2 回	講義②：情報へのアクセス法（情報システム課、図書課） ・パソコンなどの利用法 ・図書などの利用法
第 3 回	グループワーク①＜アイデアの収束法＞（木村） ・グループ編成・自己紹介 他 ・箇条書きから図式への技法 （各ファクターをまとめ、関係性を図式化する）
第 4 回	グループワーク②＜アイデアの収束法 2＞（全教員） ・KJ 法を用いてアイデアを構造的にまとめる ・各班ごとに課題を一枚の図式にまとめ、複数班で発表し合う
第 5 回	グループワーク③＜アイデアの発表法 1＞（全教員） ・4 班で 1 グループを作り、2 班ずつ 1 回目と 2 回目に分け、ディベートの分担を決める ・KJ 法を用いてディベートの内容を整理する （立論のための調査、論理構成の検討などを行う）
第 6 回	グループワーク④＜アイデアの発表法 2＞（全教員） ・手順に沿って、初回のディベートを行う （各グループ 4 班の内 2 班が討論を行い、残りの 2 班は進行やジャッジを担当する）
第 7 回	グループワーク⑤＜アイデアの発表法 3＞（全教員） ・第 2 回は、残りの 2 班が討論を行い、前回行った 2 班は進行やジャッジを担当する） ・ディベート終了後、グループワークについての自己評価を行う
第 8 回	講義③：本の読み方・レポートの書き方（木村） ・文献について ・文章の構成について ・文章の表現について ・適切な引用方法について
第 9 回	講義④：本の読み方・レポートの書き方（杉谷・全教員） ・学生が作成した過去の文章を素材に、各学生が前回学習した内容に即して添削する ・新聞のコラムなどから段落を削除したものを読んで段落を分け、全体のタイトルを考える ・各自の添削案、段落分け案、タイトル案を班で検討する ・最後に、教員から添削例を示す
第 10 回	課題レポート① 課題レポート作成にむけて（全教員） （この回以後は、学科ごとに分かれる） ・課題レポートの概要についての説明 ・「問いをたてる」についての説明 ・テーマを決める
第 11 回	課題レポート②（全教員） （学科別）個人ワーク

	テーマに関する情報を集める① ・ 文献を探す/文献検索 (CiNii Research、 Google Scholar、 J-STAGE 他 利用) ・ 文献を読む ・ 問いを立て、プロットを組む (各教室、図書館、PC 室)
第 12 回	課題レポート③ (全教員) (学科別) 個人ワーク テーマに関する情報を集める② ・ 文献を探す/文献検索 (CiNii Research、 Google Scholar、 J-STAGE 他 利用) ・ 文献を読む ・ 問いを立て、プロットを組む (各教室、図書館、PC 室)
第 13 回	課題レポート④ (全教員) (学科別) 中間発表 (グループワーク) ・ 問題設定、レポートの論旨の流れ、使用した文献について発表する ・ 班で発表内容について意見交換を行う ・ 意見交換をもとに推敲し、後日推敲したレポートを教員に提出する
第 14 回	課題レポート⑤ (全教員) (学科別) ・ 提出されたレポートを添削してフィードバック (個人ワーク) ・ 返却されたレポートのブラッシュアップを行う ・ レポート作成・仕上げ (2000 字程度)
第 15 回	課題レポート⑥ (全教員) (グループワーク) ・ 班内でレポート内容について発表する ・ 自己のレポートを振り返る
テキスト	・ テキストは使用しません。必要に応じて、講義資料等、印刷物を配布します。
参考図書・教材/データベース・雑誌等の紹介	・ 溝上慎一著『大学生の学び・入門』 有斐閣アルマ ・ 学習技術研究会編著『大学生からのスタディ・スキルズ 知へのステップ』 くろしお出版
課題に対するフィードバックの方法	学生が提出したレポートについて、添削などを行ったうえでフィードバックする
学生へのメッセージ・コメント	・ 分野にこだわらず、様々な領域を扱う書籍・芸術・情報に関心を持ちましょう。 ・ 疑問や興味を持ったテーマについて、図書館などデータベースを活用し、学びを深めましょう。 ・ 基本的なパソコン操作を修得しましょう。 本セミナーでの学びを充実させるには、自らが進んで課題を探索していく姿勢が大切です。 ・ 課題以外にも様々なことに興味関心を持ち、自ら学ぶ積極的な姿勢で取り組みましょう。 ・ 図書館を利用し、主体的に学ぶ学習習慣を確立しましょう。

2025 年度 授業コード：S1005400

・仲間との協働を通じて得る学びは貴重です。グループワークには、意欲的に臨みましょう。